

広報 人と自然が織りなす 心豊かな協働の村

2014
No. 572

11

たのはた

復興へのご支援に心から感謝します



復興進む明戸海岸をランナーが駆ける

10月19日に開催された村駅伝大会。奥に望むのは防潮堤を兼ねる新しい県道の工事が進む明戸海岸。田野畑体育会Aチームのアンカー小野順市さん(42)＝菅窪＝は、チームでつないだ「たすき」を掛けトップで駆け抜けた(関連記事5ページ)

主な
内容

- 村総合防災訓練 2頁
- 平成26年度上半期財政状況について 6頁
- 村復興祈念祭ファイナル 8頁
- 議会だより 20頁

あなたの無事を家族に伝える
家族の無事があなたに伝わる

災害伝言ダイヤル



災害時は、全国から被災地への電話がつながりにくくなります。「災害用伝言ダイヤル171」は、被災住民の安否を伝える声の伝言板。もしもの時のためにぜひ覚えておきましょう



真剣な表情で説明を受ける小学生。ガイダンスに従えば誰でも簡単に伝言を残せます

災害用伝言ダイヤル操作方法

発信音「ツー」の確認し、「171」をダイヤル

ガイダンス

こちらは伝言ダイヤルセンターです。録音される方は「1」を再生される方は「2」をダイヤルしてください。

録音する人は「1」をダイヤル

再生する人は「2」をダイヤル

ガイダンス

被災地の方はご自宅の電話番号、または連絡を取りたい方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。
被災地以外の方は、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

ガイダンス 【例】0194-○○-●●▲◎

電話番号 0194-○○-●●▲◎の伝言を録音します。プッシュ式の電話をご利用の方は数字の「1」の後に「#」を押してください。ダイヤル式の方はそのままお待ちください。なお、電話番号が誤りの場合はもう一度お掛け直してください。

「1」+「#」

伝言をお預かりします。「ピッ」という音の後に30秒以内でお話してください。お話が終わりましたら数字の「9」の後「#」を押してください。

「ピッ」音の確認

【例】「○○です。みんな無事です。△▲へ避難しています…」

ガイダンスなど 「9」+「#」

伝言を繰り返します。訂正をされる時は数字の「8」の後に「#」を押してください。「○○です。みんな無事です。△▲へ避難しています…」

伝言をお預かりしました。

終了 受話器を置いてください

※災害用伝言ダイヤルは、大規模な災害が発生した場合に提供が開始されます。平常時は利用できません。
※体験利用できるのは、毎月1日と15日、正月三が日、防災週間(8月30日～9月5日)、防災とボランティア週間(1月15日～21日)です。

ガイダンス 【例】0194-○○-●●▲◎

電話番号 0194-○○-●●▲◎の伝言をお伝えします。プッシュ式の電話をご利用の方は数字の「1」の後に「#」を押してください。ダイヤル式の方はそのままお待ちください。なお、電話番号が誤りの場合はもう一度お掛け直してください。

「1」+「#」

新しい伝言からお伝えします。伝言を繰り返す時は数字の「8」の後「#」を、次の伝言に移る時数字の「9」の後「#」を押してください。

伝言の再生

【例】○○です。みんな無事です。△▲へ避難しています…
この伝言は○○日、午前○○時○○分にお預かりしました。次の伝言をお伝えします。

「9」+「#」

【例】▲▲です。△▲へ移動しています…
この伝言は△△日、午前△△時△△分にお預かりしました。お伝えする伝言は以上です。伝言を追加して録音されるときは「3」の後「#」を押してください。

平成26年度 田野畑村総合防災訓練

頻発する災害に 日ごろから備えを



9月28日、田野畑中学校を主会場に、村総合防災訓練を開催しました。参加したのは小中学生や村民、消防関係者など743人。地震発生伝達で始まった訓練は、津波避難、初期消火、ヘリポート開設など38項目にわたり、有事に対する行動や備えの大切さを確認し合いました。

【写真】村女性消防協力隊の初期消火訓練。初期消火で大切な財産を守ります

県防災ヘリも消火に参加 火災防御訓練では、上空偵察中



田野畑中学校に設置した災害対策本部でも本番さながらの訓練が行われた

大地震と山林火災を想定
この日の訓練は、午前8時の強い地震の発生を伝える防災無線のサイレンで始まりしました。訓練は、宮城県沖を震源とする震度6弱の大地震により村内で家屋の倒壊や停電、火災などが発生。また倒壊建物から出火した火は山林に延焼し、強風にあおられたことで山林火災が大規模化する…という想定で実施しました。津波避難訓練では、沿岸部住民に防災無線で避難指示が出され、消防団員が津波に備えて水戸門を閉鎖し、消防車で避難を呼び掛けました。住民の入居が始まって初めての総合防災訓練を迎えた羅賀東団地でも10人の住民が避難するなど沿岸部で232人が避難しました。

小中学生にも防災教育

今回の訓練には、村内の小中学生250人も参加。NTT東日本による災害伝言ダイヤル「171」の運用体験や三陸国道事務所による衛星小型画像伝送装置の紹介などを受けました。また防災学習として、東日本大震災の教訓を伝えていくため、津波体験者の講話を受講しました。



事故車両に閉じ込められた負傷者を救助する訓練では分署員の手際の良い作業が見られた

の県防災ヘリが田野畑中学校西側で林野火災を発見し、タンク補水により空中から消火する訓練を実施。地上からも消防団員が巡回消火訓練を行いました。主会場の田野畑中学校では、搬送されてきた負傷者のトリアージ訓練や赤十字奉仕団などによる炊き出し訓練など、関係機関が多数参加し38項目に及ぶ訓練が実施されました。

女性消防協力隊員などを任命

村消防団では、村機能別消防団に5人を再任、村女性消防協力隊に3人が入隊しました。機能別消防団は、消火活動などを行う消防団とは異なり、長年培ってきた専門的な知識や技能に応じて、特定の活動で消防団活動をサポートする組織です。また、女性消防協力隊は、火災予防の普及活動を担うほか、災害発生時には消防団に協力し消防団活動を支援します。

村機能別消防団(9月1日付、敬称略)

熊谷源一、佐々木哲夫、嘉藤正義、熊谷三平、相模義光(以上、第3分団管轄)

女性消防協力隊(10月1日付、敬称略)

深渡美智子(1班)、佐藤春美、畠山エリカ(以上4班)

安心・安全の村づくりに女性の協力と消防団OBの活躍は不可欠

第15回岩泉・田野畑地域安全大会 全国で振り込め詐欺被害487億円



岩手県警察音楽隊は特殊詐欺のミニコントで高齢者に注意を喚起

第15回岩泉・田野畑地域安全大会が10月25日、アズビイホールで開催され、約330人の参加者が「安心して暮らせる社会の実現を目指して決意を新たにしました。」

オープニングセレモニーの田野畑小学校スクールバンドの演奏の後、佐藤順岩警察署長が管内の治安状況を説明し「全国で振り込め詐欺被害が多数発生している。昨年の被害額は全国で487億円。今年はずでに354億円の被害があり、うち岩手県では61件、2億6500万円となっている。被害者の80%以上が65歳以上の高齢者なので、だまされないよう注意して生活して欲しい」と呼び掛けました。

また村防犯協会の畠山保幸副会長が「犯罪や事故のない明るく住みよい町づくりを目指し、たゆみなく努力します」と宣言しました。

表彰では、長年にわたり地域防犯・交通安全啓発活動に取り組んできた村駐在所連絡協議会（道合勇一会長、会員31人）に岩手県知事表彰が贈られ、感謝状贈呈では長年にわたり交通指導員を務めた箱石大典さん（49）＝島越＝、村防犯連絡委員を務めた畠山拓雄さん（58）＝羅賀＝にそれぞれ感謝状が贈られました。

アトラクションとして県警察音楽隊によるミニコントを交えた演奏が披露され、参加者は楽しい雰囲気にもまれながらも詐欺被害や交通事故の防止について確認していました。



村駐在所連絡協議会が県知事表彰を受賞



会場は満員。村民の地域防犯意識の高さを証明

第43回 田野畑村駅伝競走大会 沿道の温かい声援に感謝



第43回村駅伝競走大会（村体育協会主催）が10月19日、旧浜岩泉児童館付近から戸戸地区までの5区間19・1キロのコースで開催され、9チームが参加し、たすきをつなぐ熱い戦いを繰り広げました。

ことしから第4区には中学生の参加が認められ、7人の中学生が参加。中継地点の田野畑駅や走路の羅賀集落では多くの住民が沿道に駆け付け、中学生の力走に温かい声援を送りました。

優勝は田野畑体育会A。1区の熊谷さんが区間賞の走りでもトップに立つと、2区5区でも区間賞。2年連続7回目の優勝を飾りました。走り終えた選手たちは、仲間の健闘をたえ合いました。

田野畑駅前からの4区。羅賀体育会では中村さんから中学生の熊谷さんへたすきをつなぎました

優勝チーム選手インタビュー

- 1区 熊谷 諒さん**
ほとんど練習できないまま本番を迎えましたが1位でたすきをつなぐことができたので満足しています
- 2区 町平 柊斗さん**
岩泉高校で陸上部に所属していますが、坂道がきつかったです。1位でたすきをつなげてホッとしました(笑)
- 3区 畠山 勝男さん**
順位をひとつ落として悔しい思いをしましたが、4区の中学生の逆転を信じてたすきをつなぎました。来年も頑張りたいです
- 4区 畠山 玄さん**
2位でたすきを受けましたが、必ず追い越せると信じて頑張りました。負けたくなかったので逆転できて良かったです
- 5区 小野 順市さん**
4区の中学生2人が並んで5区に来たので負けられないプレッシャーを感じて走りました。終始自分のペースで走れたのが勝利につながりました

第43回村駅伝競走大会記録一覧（敬称略）

順位	チーム名	第1区		第2区		第3区		第4区		第5区	
		順位	3.4km	順位	4.7km	順位	3.1km	順位	2.3km	順位	5.6km
1	田野畑体育会A 1時間09分53秒	1	熊谷 諒 13分15秒	1	町平 柊斗 15分24秒	2	畠山 勝男 12分31秒	2	畠山 玄 8分12秒	1	小野 順市 20分31秒
2	羅賀体育会 1時間11分21秒	2	晴山 海 13分28秒	2	山崎 雄大 15分46秒	1	中村 修 11分53秒	3	熊谷 百花 8分16秒	4	川畑 勝也 21分58秒
3	沼袋体育会 1時間12分19秒	3	熊谷 弘徳 13分47秒	3	佐々木 潤 15分51秒	3	金子 三知明 12分44秒	1	吉塚 壮太 8分01秒	3	吉塚 雄志 21分56秒
4	マーメイド切牛 1時間16分52秒	5	熊谷 学大 14分30秒	4	熊谷 広地 18分17秒	4	千葉 朝日 12分58秒	6	熊谷 和宏 9分37秒	2	中田 和利 21分30秒
5	平井賀ボトラーズ 1時間23分34秒	7	熊谷 航大 15分29秒	6	中嶋 亮三 18分55秒	5	中村 和洋 14分36秒	5	川畑 慧人 9分08秒	6	畠山 明 25分26秒
6	沼袋ワンガラーズ 1時間26分07秒	8	熊谷 信一 16分18秒	5	佐々木 優育 18分19秒	7	菊池 晴香 16分34秒	8	中島 光輝 11分06秒	5	吉塚 公太郎 23分50秒
7	島越走友会 1時間31分07秒	4	上大澤 良光 14分17秒	8	高橋 和美 21分14秒	6	和田 圭一 16分21秒	4	工藤 鈴斗 8分27秒	7	八角 達成 30分48秒
8	はまなすRC 1時間41分51秒	6	和山 宗博 14分41秒	7	佐々木 賢司 20分21秒	8	千葉 松男 18分19秒	9	小野寺 保夫 13分45秒	9	牧原 亨 34分45秒
-	田野畑体育会B	9	町平 暁 16分54秒	-	棄権	-	棄権	7	佐々木 涼羽 11分04秒	8	佐々木 栄春 34分16秒

明戸地区などの土砂災害危険箇所 警戒区域指定の意見募集

岩手県では、県民の生命を守るために、がけ崩れや土石流が発生する恐れのある箇所の基礎調査を行っています。また基礎調査の結果を行っています。皆さんの意見を聞いたうえで土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域に指定しています（下表を参照）。

県と村は、明戸地区と東合地区、尾肝要地区の危険箇所について、住民や地権者を対象にした説明会を開催し、基礎調査の結果から想定される危険箇所や警戒区域指定の目的、指定区域にかかる制約などを説明しました。

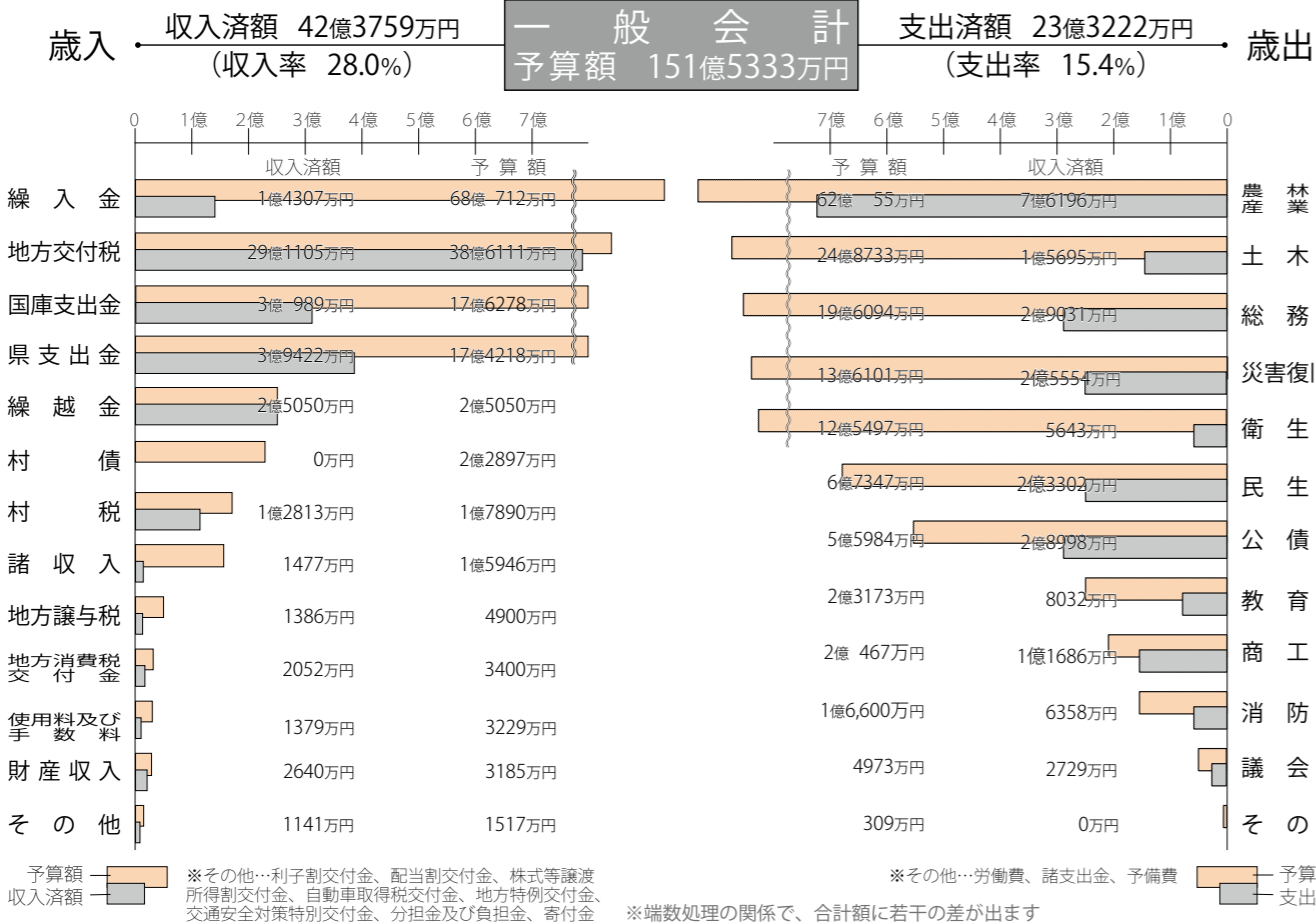
現在、3地区の危険箇所の警戒区域指定について、県から意見を求められています。村は住民の皆さんの生命を守るために、住民や地権者の意見を参考にし、指定に向けた事務を進めたいと考えています。

後日、該当区域の住民や地権者には文書を送りますので、指定についての意見などがありましたら、担当課まで連絡をお願いします。

◆期限：11月28日(金)
◆担当課：総務課（☎34-2111 内線66）

指定区分	土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)	土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)
	規制要件	土砂災害の恐れがある区域 ■避難する際に必要な連絡体制やハザードマップを整備していきます。 ■土地や建物の売買の際には、指定されていることの説明が義務付けられます。

財政状況



特別会計予算の状況 ※端数処理の関係で、合計額に若干の差が出ます

区分	事業勘定	直診勘定	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険会計	事業勘定		6億1640万円	1億9009万円	2億5914万円
	直診勘定		1億3866万円	3114万円	5868万円
簡易水道会計			12億6832万円	3012万円	1億4509万円
集落排水会計			6億2332万円	216万円	1987万円
下水道会計			4271万円	167万円	1577万円
介護保険会計	事業勘定		5億927万円	1億9162万円	2億943万円
	サービス勘定		280万円	55万円	93万円
後期高齢者医療会計			3222万円	706万円	558万円
合計			32億3369万円	4億5440万円	7億1447万円

村有財産の状況

▼土地・建物・有価証券など

種別	増減	合計	
行政財産	建物	1,546㎡	42,553㎡
	土地	8,366㎡	3,052,302㎡
普通財産	建物	0㎡	25,667㎡
	土地	26,953㎡	8,313,626㎡
合計	建物	1,546㎡	68,220㎡
	土地	35,319㎡	11,365,928㎡
有価証券・その他	0	4億4518万円	

▼基金の状況

種別	増減	合計
財政調整基金	△1億4307万円	29億1690万円
収入証紙購入基金	0	100万円
村民研修基金	0	2318万円
ふるさと基金	0	671万円
村債管理基金	0	2億3296万円
福祉基金	0	1億2834万円
土地開発基金	0	3381万円
福祉医療資金貸付基金	9万円	200万円
花笑みの村基金	0	1341万円
庁舎及び公共施設整備資金	0	2億5619万円
田野畑むらづくり基金	319万円	3216万円
育英の森造成基金	0	182万円
東日本大震災災害復興基金	429万円	1億7262万円
思惟の森交流基金	0	578万円
東日本大震災津波復興基金市町村交付金基金	0	5億9596万円
東日本大震災復興交付金基金	△4億7049万円	114億7187万円

平成26年度

村は、皆さんに納めていただいた村税や国・県からの補助金などを財源にして、さまざまな事業を実施しています。平成26年度上半期（平成26年4月1日～9月30日）の村予算の執行状況や基金、村債の現在高などについてお知らせします。詳しい内容は総務課（☎34-2111 内線12）にお問い合わせください。

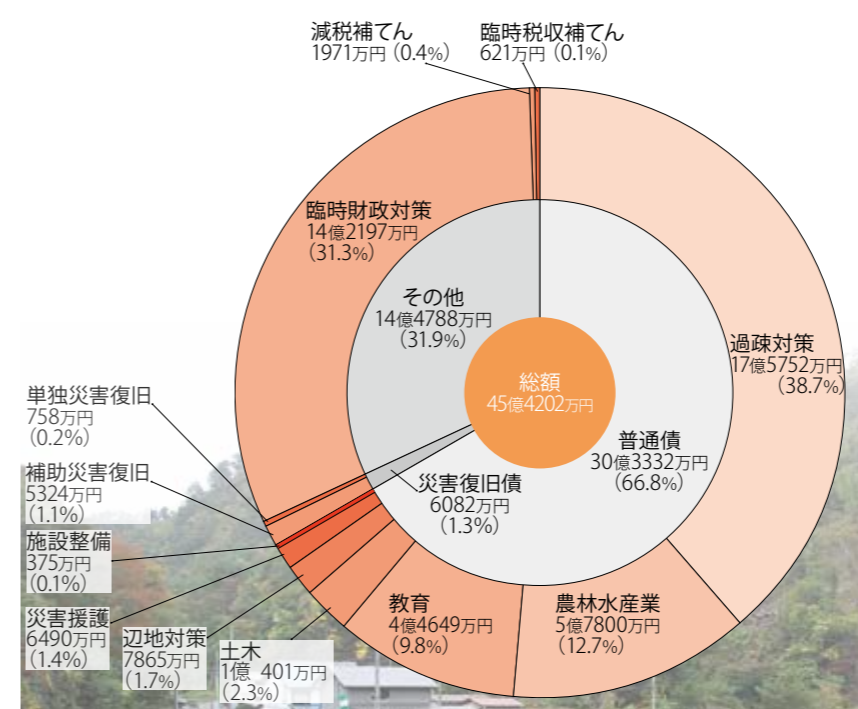
上半期の財政状況

26年度上半期の一般会計予算額は、総額11億6833万円を補正し、151億5333万円となりました。前年同期に比べ67億3309万円（30・8％）の減額となっています。

また、予算に対する収支の割合は、収入が42億3759万円、支出が23億3222万円、支出率が55・2％となっています。

スマートグリッド通信導入事業などを追加補正予算の主な内容は、スマートグリッド通信インターネットフェイス導入（3億4020万円）、明戸地区まちづくり連携道路整備（9831万円）、島越地区コミュニティセンター用地造成（5580万円）、旧羅賀小学校解体（2360万円）となっています。

村債現在高の状況（平成26年9月30日現在）



「道の駅たのはた」リニューアル構想検討（20003万円）、島越駅再整備（1276万円）、共同利用漁船等復旧支援（1180万円）などを追加しました。

※端数処理の関係で、合計額に若干の差が出ます

村債残高45億4202万円（村民1人当たり122万9234円）のうち34億6195万円は交付税算入が見込まれるため、実質残高は10億8007万円（同29万2306円）となります



平成27年度の完成を目指し、工事が進む羅賀地区の上川原地区と海鳴台団地をつなぐ村道海鳴台線



甲地鹿踊にはおばあちゃんの踊り手が飛び入り



ファッションショー、いつものパパママがステキに変身!



ミネハハさん(左)とどんぐり会は幅広い層に人気



田野畑中復興太鼓と和太鼓奏者Ajo(アジョ)さんのコラボは圧巻



サルサガムテープの歌にステージと会場が一体となり盛り上がった



もちまきには白澤みさきさんも登場。会場は笑顔と歓声に包まれた



オープニングは田野畑小学校スクバン



若桐保育園は「ようかい体操」を元気に披露

復興祈念祭(5日) ～復興祈念の日～ アズビホール周辺



田野畑児童館は息のあった「はっぴーはっぴー」



会場には屋台やキッチンカーなど多数出店

前夜祭イベントに助成金
社会福祉法人「読売光と愛の事業団」(東京都 長尾立子理事長)から村復興記念祭実行委員会へ助成金 100 万円を提供いただきました。助成金は、前夜祭のステージ設営と打ち上げ花火の費用に充てられました。

田野畑村復興祈念祭ファイナル

東日本大震災から3年7カ月を迎えようとする10月5日、アズビホール周辺を会場に「田野畑村復興祈念祭ファイナル」を開催しました。高台移転地の造成や災害公営住宅の整備が進み、村の復興が徐々に目に見えてきた中で開催された復興祈念祭は、郷土芸能や歌謡コンサート、ファッションショーなど内容充実のイベントとなり、訪れた多くの皆さんに笑顔が見られました。

前日の4日には、旧島越駅前広場で前夜祭を開催。会場周辺にはキャンドルを並べ、ステージでは島越の児童、生徒による島越よさこいソーランなどが披露されました。終盤には松前川に灯籠が流され、旧駅前広場全体で鎮魂の盆踊りが行われました。

復興祈念祭は今回で最後となる予定ですが、震災復興は被災者すべてが日常を取り戻すまでは終わりません。これからも復興への思いと誓いを一つに。



前夜祭(4日) ～鎮魂の日～ 旧島越駅前広場



浜岩泉地区の児童による力強い弥五兵衛太鼓

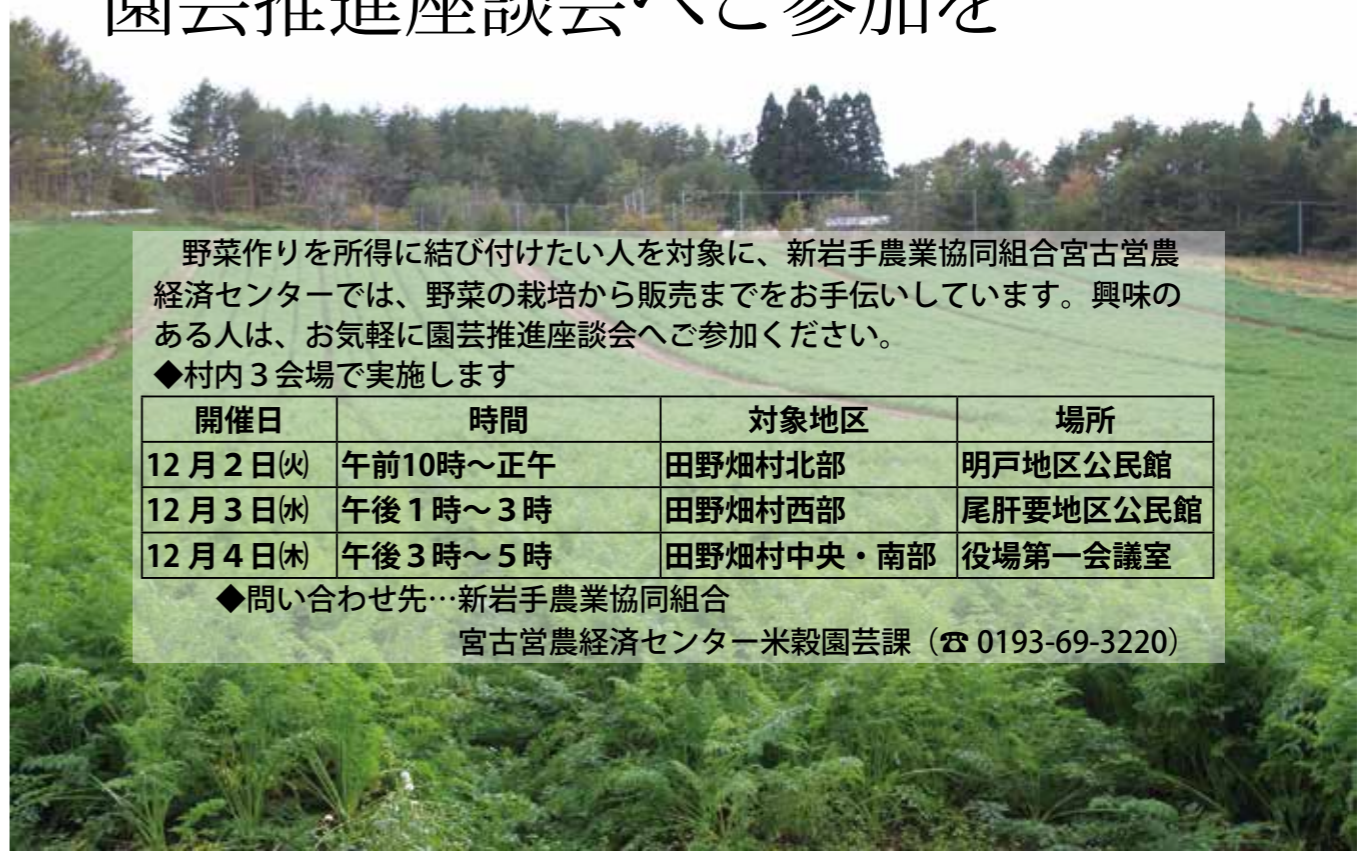


松前川に灯籠が流され多くの人が手を合わせた



島越地区児童らがよさこいソーランで盛り上げた

野菜づくりでの収入確保を考えている人は 新岩手農業協同組合宮古営農経済センターの 園芸推進座談会へご参加を



野菜作りを所得に結び付けたい人を対象に、新岩手農業協同組合宮古営農経済センターでは、野菜の栽培から販売までをお手伝いしています。興味のある人は、お気軽に園芸推進座談会へご参加ください。

◆村内3会場で実施します

開催日	時間	対象地区	場所
12月2日(火)	午前10時～正午	田野畑村北部	明戸地区公民館
12月3日(水)	午後1時～3時	田野畑村西部	尾肝要地区公民館
12月4日(木)	午後3時～5時	田野畑村中央・南部	役場第一会議室

◆問い合わせ先…新岩手農業協同組合
宮古営農経済センター米穀園芸課 (☎ 0193-69-3220)

北山地区の生産者がニンジン栽培している畑。村内ではダイコン、ホウレンソウ、ピーマンなどの生産が盛んです

夏イチゴ栽培を田野畑で

10月22日、アズビイ楽習センターで岩手大学三陸復興推進機構主催によるシンポジウム「三陸で夏イチゴを作ろう in 田野畑」が開催され、村内外から約30人が参加しました。

シンポジウムは、岩手大学三陸復興推進機構が取り組んでいる被災地の復興支援の一環として、村内で数年ぶりに取り組みが始まった夏イチゴ栽培の振興を支援しようというもの。主催した岩手大学の岡田益己客員教授は「夏が涼しい環境が夏採りイチゴの栽培に適している」と目を付けたイチゴ栽培未経験の農業者が栽培をスタートさせた。三陸で栽培する仲間を増やし産地化を成功させたい」と今後の展望を語りました。



沿岸市町村から約30人が参加

県沿岸乳牛共進会で栄誉

旧下閉伊北部家畜市場で10月18日、第50回県沿岸ホルスタイン共進会が開催され、牧原勲さん(56)が出品した出品牛(第1部未経産牛)がジュニアチャンピオン、田河原憲幸さん(29)が出品した出品牛(第6部経産牛)がリザーブチャンピオンになりました。



牧原さんの出品牛。毛並み、骨格とも最高

共進会には宮古地域から51頭の乳牛が出品され、本村からは12頭が出品されました。ジュニアチャンピオン牛を出品した牧原さんは「50回の記念大会にジュニアチャンピオンの受賞はとてうれしい。村内の仲間と技術を高め、助けられながらの受賞でした。これからも仲間と頑張りたいです」と語ってくれました。

平成26年度河川水質調査

河川環境おおむね良好

村は毎年、村内河川の水質調査を実施しています。今年10月4日、6河川12カ所から河川の水を調査しました。

調査の結果、一部の項目を除いて環境基準の最高ランクのAA類型からA類型の基準を満たしており、おおむね良好な水質が保たれていることがわかりました。河川の水質は、周辺の環境や季節によっても大きく変動します。また、皆さんが日ごろ何気なく流している生活雑排水の影響も受けます。野菜くずを流しに流さないこと、お風呂の残り湯で洗濯をして排水量を減らすなど、毎日の生活でのちょっとした気配りが河川の水質を良好に保つことにつながります。

河川の環境保全はきれいな海を守ることもつながります。これからも、みんなできれいな川、海自然を守りましょう。

◆問い合わせ先…生活環境課 (☎ 3412114 内線22)

■平成26年度河川水質調査結果

河川名	採水地点	pH	Do mg/l	BOD mg/l	SS mg/l	大腸菌群数 MPN/100ml
普代川	巢合中の橋付近	7.4	10.0	0.7	3	130
	青雲橋付近	7.4	9.9	0.7	3	1,300
平井賀川	砂防ダム付近	7.4	10.0	1.1	2	33
	水門から約100m上流	7.5	9.5	1.7	404※	160,000※
松前川	松前沢橋付近	7.3	9.8	6.6	7	490
	島越水門付近	7.3	9.7	1.8	3	94
	鉄山口バス停付近	7.4	9.9	0.6	2.0	220
	タタラ橋付近	7.4	9.8	0.6	3	220
	清流橋付近	7.2	10.0	2.1	3	240
島の沢川	北の沢と南の沢の合流点	7.0	9.7	0.6	1未満	6.8
白池川	河口から約1km上流	7.3	9.8	0.6	2	70
田代川	普代川との合流点	7.4	10.0	0.9	5	110
県環境基準 (AA類型)		6.5~8.5	7.5以上	1以下	25以下	50以下
県環境基準 (A類型)		6.5~8.5	7.5以上	2以下	25以下	1,000以下

※平井賀水門付近のSSと大腸菌群数については、上流部の掘削作業の影響により基準を超える測定結果となりました。

◆水素イオン濃度 (pH) …水質の酸性・アルカリ性の状態を示す指標。pH7.0が中性で、これより低いと酸性、高いとアルカリ性を示す

◆溶存酸素量 (DO) …水中に溶解している酸素の量を示す。魚介類が生息するためには、一定以上の溶存酸素量が必要

◆生物化学的酸素要求量 (BOD) …微生物が有機物を分解した際に消費される酸素量で、河川の有機汚濁を測る指標。有機汚濁物質が多いほど数値が高い

◆浮遊物質 (SS) …濁りの原因となる有機物やプランクトン、生活排水中の微細な物質の濃度を示す指標

◆大腸菌群数 …し尿による汚染の程度などを示す指標

平坂さんが環境省から表彰

自然歩道の維持管理に顕著な功績のあった人に贈られる環境省自然環境局長の平成26年度自然歩道関係功労者表彰に平坂忠三さん(70)が選ばれ、10月21日、岩手県環境生活部長から表彰状が手渡されました。

平成16年4月から自然公園保護監視員として北山崎自然遊歩道などにおいて定期パトロールを実施し、自然景観や動植物保護、自然公園の適正利用と利用者への指導を行ってきた平坂さんは「遊歩道内の倒木や歩道の損壊など、危険箇所を監視してきました。北山崎遊歩道には特有の植生があるので多くの観光客が訪れます。植物観賞や観光する皆さんの安全確保を第一に心がけて監視していきま



岩手県環境生活部長(右)から表彰状が手渡された平坂忠三さん(中央)

ほんもの体験フォーラム in いわて

10月24日～26日に村などで開催

24日は、参加者が各市町村で体験ツアーに参加。本村でも体験村・たのはたの体験ツアーに約20名が参加しました。参加者は北山崎を見学した後、平井賀漁港とハイペ



ジオガイドではハイペ浜の平成津波岩を紹介

10/24

ジオガイドと机番屋でガラス浮玉編み体験

「体験交流で日本に『心の豊かさ』を取り戻そう」をメインテーマに、10月24日から26日まで、久慈市周辺6市町村を会場に第11回全国ほんもの体験フォーラム in いわてが開催されました。フォーラムは、都市部と農山漁村部の地域間交流により日本に「心の豊かさ」を取り戻すことをテーマに毎年開催されているもので、今年は東北で初めての開催となりました。体験交流型観光へのに取り組んで、被災地域の復興や活力になっていく実例を全国から集まった参加者に紹介しました。



浮玉づくりなどの漁村文化を体験し、ガイドと交流することも体験旅行の醍醐味

完成したばかりの机番屋群では、漁で使用していたガラス浮玉の編み体験を行いました。細かな作業でしたが1時間ほどで完成。かわいい浮玉は女性に好評でした。



あいしょう農交愛ランド協議会 西川作男さん (滋賀県愛荘町)

浜でジオパークガイドを体験。白亜紀宮古層群の壮大なスケールと平成津波岩が表す津波の破壊力に自然の凄さを体感しました。滋賀県で学習旅行の民泊を受け入れている西川作男さんは「手で触れるほど身近に化石があり、それをわかりやすくガイドしてもらった。古代のロマンを感じました」と語ってくれました。

田野畑小学校学習発表会 児童の熱演に温かい拍手



全児童が指揮者を見つめ、心を一つに一生懸命歌った「イーハトーヴの風」

田野畑小学校（大芦教子校長、児童151人）は、10月19日、学習発表会を開催しました。1年生の「はじめのことば」で幕を開けた発表会は、1年生から6年生までそれぞれが、劇や歌、演奏などで練習の成果を發揮しようとして一生懸命。1年生は「くじらぐもが田野畑小にやってきた！」をかわいらしく、3年生は「キッチンパニック2014」をリズムカルに、6年生

は三閉伊一揆を題材にした劇「命を懸けて守られた命」を熱演し、最後に勝ち取った「安堵状」を高々と掲げると、訪れた多くの保護者や地域の人たちから盛大な拍手が送られました。ステージ裏でもたくさん児童が裏方として活躍し、円滑な進行に尽力しました。最後は全校児童が「イーハトーヴの風」を合唱。きれいなハーモニーが会場を包み込みました。



1年生のはじめのことば



2年生はプレーメンの音楽隊



3年生、キッチンパニック



内容が心に響いた5年生の劇



6年生は体育館全体を使ったスケールの大きな演劇

26日は、各市町村でそれぞれ分科会が開かれました。村では、小さい交流センターで約90人が参

10/26

分科会「災害体験と心の絆を次世代へ伝える」



会場のアンバーホールは満員。渡邊さん(右写真)の発表では震災後の村の状況も紹介

久慈市のアンバーホールで開催されたフォーラムには県内外から約800人が参加。事例発表では「私と右手・ほんもの豊かさ」に触れる体験」と題してNPO法人体験村・たのはたネットワークの渡邊悦子さんが発表。村は不便なことはあっても住みやすさ、優しさがあり、それが村の民泊体験の価値を高めていると語り、会場から拍手が送られました。

10/25

全体フォーラム後継者会 だのはたも事例発表

山崎研究員は「新潟県中越地方では、新潟中越地震から10年目を迎え、高齢化や過疎化の進行など課題が浮き彫りになったことで『震災に対する備え』『命の大切さ』『人と人との絆』『故郷の豊かさ』と誇り』の重要性に少しづつ住民が気づき意識が変わってきた」とし、故郷を自らの手で守り、次世代へつなぐ取り組みを紹介しました。



遠くは長崎県からの参加者もあったパネルディスカッション。

加して「災害体験と心の絆を次世代へ伝える」をテーマにパネリストは近畿日本ツーリスト（株）地域誘客事業部の大谷晴信（はるのぶ）専任課長、新潟県長岡市の（公社）中越防災安全推進機構の山崎麻里子（まほり）研究員など5人。



演劇の舞台には、流失を免れた駅舎の階段などをほぼ原寸大で再現



特設太鼓部は5曲を演奏。復興太鼓「希繫」では会場から手拍子



合唱コンクールでは3年1組が最優秀賞となりました

午後中は合唱コンクールが学級単位で行われ、体育館に美しいハーモニーを響かせました。午後は全校生徒100人と教職員が一丸となって「復活 三陸鉄道」マイルールは永遠に」を上演しました。東日本大震災で大きな被害を受けた三陸鉄道の復活を描いたオリジナルの作品で、役者以外の大道具や照明、音響装など

もすべて生徒が担当しました。震災発生時の島越地区と三陸鉄道島越駅周辺の様子や三陸鉄道が復旧する過程を丁寧に再現しました。鑑賞した保護者の下机曉美さん（53）は「震災当時のことが思い出されました。生徒の演技に感動で涙を堪えるのに一杯でした。息子は照明係でしたが無事に終わって安心しました」とホッとした様子でした。最後は特設太鼓部の発表が行われ、復興太鼓として練習してきた「希繫」を披露。体育館に大迫力の演奏を響かせました。

想いを繋ぐ熱演に感動 田野畑中学校文化祭



初めて見るタイムカプセルにカードを入れる三上結菜(ゆら)ちゃん。

将来の夢をタイムカプセルへ

若桐保育園(鈴木康子園長、園児39人)と田野畑児童館(中里民子館長、園児49人)の園児が10月1日、島越駅そばの津波避難場所整備予定地にタイムカプセルを埋めました。タイムカプセルは園児たちの成人式の日を開ける計画で、中には将来の夢とイラストを描いたメッセージカードを入れました。カードを入れた三上結菜ちゃん(6つ)は「将来の夢は警察官。カードを入れたカプセルを穴に埋めて楽しかったです」と笑顔を見せました。

羅賀地区消防防災センターが完成

東日本大震災の津波で大きな被害を受けた羅賀地区消防防災センターが旧羅賀小学校跡地に建設され、9月28日に落成式が行われました。

新しいセンターは鉄骨2階建て、車庫や研修室、待合室、資材保管庫のほか、屋外にホース乾燥棟を備えています。第1分団1部の中村和洋副分団長は「震災から3年半で立派な消防防災センターが完成し、分団員一同感謝している。地域防災に一層尽力していきたい」と力強く語りました。



真っ赤なホース乾燥棟が印象的な新しい羅賀地区消防防災センター

いわて国体ダンスキャラバン

平成28年に開催される希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の公式ダンス「わんこきょうだいのうた」をPRするキャラバン隊が10月7日、アズビィ体育館を訪れ、若桐保育園(鈴木康子園長、園児39人)と田野畑児童館(中里民子館長、園児49人)の園児と一緒にダンスを踊りました。若桐保育園の八角真央ちゃん(6つ)は「踊りは少し難しかったけど、そばっちと一緒に踊れてとても楽しかったです」と笑顔を見せました。



そばっち(右端)やダンス指導の高橋厚子さん(右から2番目)と一緒に楽しいダンス

小学生が稲刈り作業を体験

10月10日、田野畑小学校5年生(担任星智之先生、児童24人)が田野畑地区の遠藤誠治さんの田んぼで稲刈り作業を体験しました。稲は5月30日にみんなで植えた苗が実り収穫を迎えたもので、約1反歩の稲穂を刈り取る作業に歓声が沸きました。

学級委員長の鈴木優太くんは「刈り取りや運搬、はさがけは大変でしたが、稲が順調に成長して良かったです。みんなで食べるのが楽しみです」と額に汗を浮かべて語ってくれました。



鎌で稲を刈り取る慣れない作業も、笑顔で頑張った早野 慈(いつく)くん

村民マレットゴルフ交流大会が復活

震災により中止していた村民マレットゴルフ交流大会が10月12日、村マレットゴルフ場で開催され、16人が参加しました。

選手は日ごろの練習の成果を発揮し、参加者と交流を深めました。

初参加で4位入賞した鈴木駒子さん(75)＝高校仮設＝は「震災後にマレットゴルフを始めました。初めは打っても距離が出ませんでした。最近はコツがつかめたようです。健康のために、これからも続けたいですね」と笑顔で語ってくれました。



芝を歩くことで足腰に負担が少なく体が丈夫になると高齢者に好評です

紙芝居で三閉伊一揆の志を学ぶ

10月26日、アズビィ楽習センターで滝沢市の藤沢昭子さんが手作りした紙芝居「希望の貝吹き」で三閉伊一揆について学ぶ交流会が開催されました。紙芝居は三閉伊一揆を題材に生活を守るために立ち上がった農民の姿を紹介するもの。藤沢さんは「いつかは田野畑村で紙芝居を披露したいと思っていたので念願がかないました。畠山太助を中心とした村人たちが幸せをつかみ取るまでの諦めない姿を多くの人に知ってもらいたいです」と語りました。



三閉伊一揆を語る会の会員が多く訪れ、熱心に耳を傾けた



紙芝居は滝沢市高齢者大学「睦大学」の受講生50人が布などを持ち込み制作したもの

お知らせ

知 宝くじ文化公演チケット追加販売

宝くじ文化公演「伍代夏子・大泉逸郎コンサート」のチケットを追加販売します。売り切れ次第終了となります。

- ◆日時…11月5日(水) 午前8時～午後5時30分
- ◆場所…村教育委員会
- ◆料金…1枚: 1,000円
- ◆残枚数…38枚(最後列)
- ◆問い合わせ先…教育委員会 (☎ 34-2226)

知 いわて就職面接会開催

公益財団法人ふるさといわて定住財団では、県内への就職を希望する学生、既卒者および一般求職者を対象に県内企業との面接会を開催します。

- ◆日時…11月18日(火) 午後1時～4時30分
- ◆場所…岩手産業文化センターアピオ(滝沢市)
- ◆参加企業…県内に就業場所があり、正社員、正職員の求人を持つ企業(昨年度参加企業115社)
- ◆問い合わせ先…公益財団法人ふるさといわて定住財団 (☎019-653-8976)

知 就活・保護者セミナー開催

ハローワーク宮古では、就職活動中またはこれから就職活動を始める人の保護者を対象にセミナーを開催します。

- ◆日時…12月3日(水) 午後6時～7時
- ◆場所…宮古職業訓練センター
- ◆定員…25人
- ◆申し込み・問い合わせ先…ハローワーク宮古(☎0193-63-8609)

知 岩手医大の健康調査に協力を

岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構では、村在住の国民健康保険加入者以外で20歳以上の人を対象に健康調査を実施しています。

この調査は、東日本大震災からの医療復興を目的として沿岸地域を中心に実施しています。調査に協力した人には、アレルギーや胃の病気のリスク、栄養摂取状態やがん・脳卒中・心臓病へのかかりやすさなど、今の健康状態を調べて結果をお返しします。

皆さんの健康づくりのため、ぜひ調査にご協力ください。

- ◆調査内容…採血、採尿、生理機能検査(骨密度、動脈硬化、内臓脂肪など)、調査票記入
- ◆検査費用…無料(謝礼として1,000円相当の商品券を進呈)
- ◆会場…宮古病院(完全予約制)
- ◆申込方法…電話またはFAXで申込み。※FAX申込書は、行政区長を通じ世帯配付。また保健センターでも配布
- ◆問い合わせ・申し込み先…岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構(☎0120-100-867 平日午前9時～午後4時、fax019-907-0711)
- ◆DV被害者支援セミナー開催
 - ◆日時…11月27日(木)午前10時～11時45分
 - ◆会場…いわて県民情報交流センター(アイーナ)8階研修室812
 - ◆申し込み・問い合わせ先…県男女共同参画センター (☎019-606-1761)

募 自衛官候補生・生徒を募集

◆種目・受験資格

- ①自衛官候補生(陸上・海上・航空)…18歳以上27歳未満
- ②陸上自衛隊高等工科学校生…中学校を卒業(見込みを含む)した17歳未満の男子

◆試験日・試験場

- ①自衛官候補生…11月30日(日)・岩手駐屯地(滝沢市)
- ②陸上自衛隊高等工科学校生
 - 【推薦】平成27年1月10日(土)～12日(月)の間の指定する1日・陸上自衛隊高等工科学校(神奈川県横須賀市)
 - 【一般】平成27年1月24日(土)・山田町船越防災センター

◆申込期限

- ①自衛官候補生…11月25日(火)
- ②陸上自衛隊高等工科学校生
 - 【推薦】12月5日(金)
 - 【一般】平成27年1月9日(金)

◆申し込み・問い合わせ先…自衛隊宮古地域事務所(☎0193-63-3881)

知 福祉再就職支援講座開催

岩手県社会福祉協議会福祉人材センターでは、福祉の仕事の「再就職支援講座」を開催します。

- ◆日時…11月15日(土) 午前10時～午後1時
- ◆場所…宮古市総合福祉センター
- ◆内容…介護技術講座、求人状況や人材センターの利用について
- ◆対象者…有資格者で1年以上ブランクのある人、介護職への再就職を希望する人
- ◆申し込み・問い合わせ先…福祉人材センターキャリア支援員 舘洞 (☎080-8201-0199)

募 参加者などを募集中

知 いろいろなお知らせ

知 みやこ農業人フェア開催

農業に興味がある人、就職先・転職先として農業を考えている人などが情報を得られる農業イベントが開催されます。

- ◆開催日…11月15日(土)
- ①農業体験会+農業について語らう会
 - 時間…午前9時～正午
 - 集合場所…宮古地区合同庁舎(宮古市五月町1-20)
 - 会場…上山農園(宮古市花輪) ※貸切バスで移動
 - 内容…農作業体験、農業についての情報交換 ★参加者には農産物をプレゼント
- ②就農相談会
 - 時間…午後1時～3時
 - 会場…宮古地区合同庁舎1階第2会議室
 - 内容…新規就農にかかる個別相談

◆問い合わせ先…宮古農業改良普及センター (☎0193-64-2220)

知 「食の匠の技」公開講座開催

宮古地方の岩手県「食の匠」認定料理およびその技の公開講座を開催します。

- ◆日時…11月21日(金) 午前10時30分～午後1時30分
- ◆場所…宮古地区合同庁舎2階栄養相談室
- ◆講師・料理
 - ①昆東子・松茸入りひつつみ
 - ②上野千枝子・ピーマンみそ
- ◆参加料…1人1,000円(材料代)
- ◆定員…15名(先着順)
- ◆申し込み受付開始…11月5日(水)
- ◆問い合わせ先…宮古農業改良普及センター (☎0193-64-2220)

人口と世帯(訂正)

9月1日現在()は前月比
 人口 3,701人(+8)
 男 1,838人(+4)
 女 1,863人(+4)
 世帯 1,436世帯(+3)
先月の数字に誤りがありました。訂正いたします

人口と世帯

10月1日現在()は前月比
 人口 3,695人(-6)
 男 1,835人(-3)
 女 1,860人(-3)
 世帯 1,438世帯(+2)

火災

(9月21日～10月20日)
 火災の【今月】0件
 発生件数【今年】0件
 無火災の連続記録
 (10月20日現在) 589日

知 三鉄利用促進シンポジウム開催

三陸鉄道利用促進シンポジウムが開催されます。

- ◆日時…11月16日(日)午後2時～4時
- ◆会場…岩手県立宮古短期大学部 大講義室(宮古市河南1-5-1)
- ◆内容…基調講演「地域が変えるローカル鉄道」「地元高校生による意見発表」ほか
- ◆問い合わせ先…宮古市総務企画部企画課(☎0193-68-9064)

知 義肢などの巡回相談を実施

- ◆日時…11月28日(金) 午前11時～午後1時(受付は午前11時30分まで)
- ◆場所…宮古市総合福祉センター(宮古市小山田2-9-20)
- ◆申込期限…11月17日(月)
- ◆問い合わせ先…保健福祉課 (☎33-3102)

知 児童虐待は迷わず通報を

11月は児童虐待防止推進月間です。児童虐待の件数は年々増加し、子どもが犠牲になる悲惨な事件も多くなっています。「気になる」「おかしい」と感じた時や自身が子育てに悩んだ時は相談窓口へ連絡してください。

- ◆相談電話窓口
 - 宮古児童相談所 (☎0193-62-4059)
 - 生活環境課 (☎34-2114)
 - 子育て支援センター (☎37-3577)
 - 保健福祉課 (☎33-3102)

知 農業委員選挙立候補者説明会

- 村農業委員会委員選挙の立候補者説明会を開催します。
- ◆日時…11月4日(火) 午後1時30分～
- ◆場所…役場議員控室
- ◆問い合わせ先…村選挙管理委員会事務局(☎34-2111 内線90)

11月9日(日)から15日(土)まで 秋の全国火災予防運動を実施



スローガンは『もういいかい 火を消すまでは まあだだよ』

この時季は、風が強く空気が乾燥し、火災の起こりやすい気象状況が続きます。外出時や就寝前には火の元を確認しましょう。

また、火災の早期発見や逃げ遅れ、けが人を出さないために住宅用火災警報機を設置しましょう。

★住宅防火 命を守る7つのポイント

- ①寝たばこは、絶対にやめる
- ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ③ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
- ④逃げ遅れを防ぐため、火災警報機を設置する
- ⑤寝具やカーテンなどからの火災を防ぐため、防炎品を使用する
- ⑥高齢者や体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制をつくる

強い風
に注意

滞納処分を強化しています

村と県滞納整理機構が 税滞納処分強化で連携

多くの皆さんは、厳しい経済状況の中でも納期限内に村税を納めています。しかし、納めることができる経済状況にあるにもかかわらず、税を優先して納めない人や滞納が累積して高額になっている滞納者がいます。

村は、専門的に滞納整理を行う「岩手県地方税特別滞納整理機構」と連携し、納税に誠意のない滞納者や高額滞納者、長期滞納者に対する滞納処分を強化しています。

村と滞納整理機構が共同で滞納整理を実施することで、税収の確保と納税の公平性を図っています。

12月には、村で差し押さえた不動産を公売する予定です。詳しくは広報12月号でご確認ください。

やむを得ない理由には 分割や徴収猶予なども

病気や失業など、やむを得ない理由で一時的に税金を納められない人は、徴収猶予制度や分割による納付方法などもありますので、早めに税務会計課に相談してください。相談がないまま納付が遅れると、延滞金が発生したり

財産の差し押さえとなる場合もありますので、注意してください。村税は、行政サービスや行政運営を支える大切な財源。税金は期限内に納付しましょう。

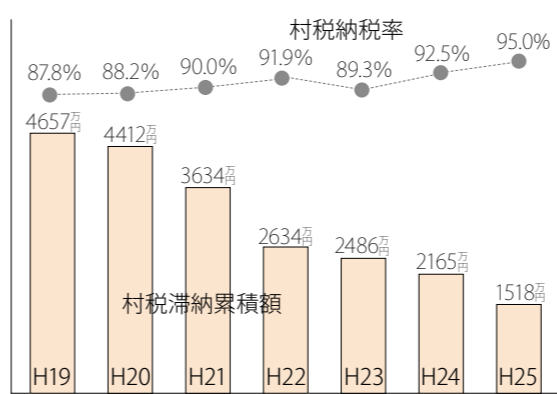
◆問い合わせ先：税務会計課(☎34-2112 内線32)

■村税滞納処分(差し押さえ)実施状況

財産区分	件数
預貯金	1件
給与	6件
年金	1件
所得税還付金	2件
地代	1件
合計	11件

※平成25年度執行分

■村税の収納率と滞納累積額の推移



「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

寄付金総額	3586万9760円
592件 (村内119件、県内154件、県外319件)	
取り崩し額	359万0000円
基金残額(運用益を含む)	3232万3938円

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎34-2111内線15)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：11月2日(日)～12月2日(火)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
11月2日(日)	村芸能フェスティバル	アズビィホール	10:00～14:00	教育委員会
	第41回村民文化展(4日まで)	アズビィ楽習センター	9:00～18:00	教育委員会
4日(火)	村農業委員会委員立候補届出説明会	役場議員控室	13:30～14:30	農業委員会(内線90)
5日(水)	アズビィ健康スポーツ教室「バドミントン教室」	アズビィ体育館(毎週水曜日)	20:00～21:00	教育委員会
	伍代夏子・大泉逸郎コンサート	アズビィ体育館	13:30～15:00	教育委員会
9日(日)	桜 on 田野畑スポーツ交流会「フットサル」	田野畑小学校体育館	9:00～11:00	教育委員会
10日(月)	アズビィ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビィ体育館(毎週月曜日)	20:00～21:00	教育委員会
11日(火)	村農業委員会選挙告示日	役場第一会議室	8:30～	農業委員会(内線90)
12日(水)	マレットゴルフ場無料開放日	村マレットゴルフ場	9:00～18:00	教育委員会
15日(土)	アズビィ健康スポーツ教室「マレットゴルフ教室」	アズビィホール(隔週土曜日)	10:00～12:00	教育委員会
16日(日)	村農業委員会委員選挙投票日	村内各投票所	7:00～18:00	農業委員会(内線90)
19日(水)	乳児健診	健診センター	13:00～15:30	保健福祉課(☎33-3102内線54)
20日(木)	あすからの暮らし相談会	保健センター	13:00～15:00	保健福祉課(☎33-3102内線50)
21日(金)	アズビィ健康スポーツ教室「ヨガ教室」	アズビィホール	18:45～20:45	教育委員会
22日(土)	診療所休診			
28日(金)	アズビィ健康スポーツ教室「フットサル教室」	アズビィ体育館(毎週金曜日)	19:00～21:00	教育委員会
30日(日)	村体育協会長杯マレットゴルフ大会	村マレットゴルフ場	8:00～12:00	教育委員会
12月1日(月)	介護保険料6期、後期高齢者医療保険料5期納期限			生活環境課(内線21)
	国民健康保険税6期納期限			税務会計課(内線32)
2日(火)	特設人権相談	役場第一会議室	10:00～15:00	生活環境課(内線69)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-310

広報プレゼント

今月は復興祈念祭の出演者から頂いたサイン色紙をプレゼント。誰の色紙がほしいかをがきに書いて役場政策推進課(11月20日まで)にご応募ください。抽選で6名様に当たります。

★ほしいサイン色紙A～Cの1つを選んでください



A) ミネノハ いま B) A j o ま
C) 白澤みさき

それぞれ2人に当たります

■前号(10月号)の正解 Q1→A、Q2→B
■先月の広報クイズの当選者 応募件数4件、全員正解でした。厳正なる抽選の結果、上山明美さん(田野畑)が当選。プレゼントはアナと雪の女王卓上カレンダーなど5点セットです。今月は好評のクイズではありませんが皆さん、ぜひ感想を添えてご応募ください。

おめでた おくやみ

[平成26年9月届け出分] (一部敬称略)

●健やかに ～誕生～
熊谷 雄飛(ゆうひ)くん 菅 窪
明紀・詩織
砂森 遥斗(はると)くん 菅 窪
博幸・円 真木沢

♥末永く ～結婚～
畠山 琢磨 菅 窪 ♥菅 窪
千田 理沙 北上市

■安らかに ～お悔やみ～
駒 木 ヨ シ(93) 羅 賀地
佐 藤 ツ ヨ(88) 甲 越
佐々木 孝 夫(84) 島 越
熊 谷 キ ミ(88) 沼 袋
三 浦 利 佐 子(77) 島 越

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口へ申し出てください

インフルエンザは早めに予防

予防接種は早めに受けましょう

村診療所はインフルエンザの予防接種を実施しています。接種回数は1回(ただし13歳未満は2回)。ワクチンが無くなりだいたい終了しますので、早めに接種しましょう。

◆実施期間…11月4日(火)から平成27年1月30日(金)まで(水曜日午後、土日祝日、年末年始を除く)

◆対象…満1歳以上の村民

◆接種料…無料

◆受付時間
○高校生以下…午後4時～4時30分(月・木・金曜日のみ)
○一般…午前9時～11時30分 午後2時30分～4時

◆持ち物…予診票、高校生以下は母子健康手帳、予防接種手帳(65歳以上で持っている人)

◆村診療所以外での接種を希望する人は、事前に保健福祉課までご連絡ください

◆問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

効果が出るまで約2週間は必要

インフルエンザの流行が心配される季節になりました。感染拡大を防ぐよう対策を徹底しましょう。

感染予防は心掛けが大切
インフルエンザの感染対策は、日ごろからの予防が大切。次の①～④を心掛けましょう。

① 早めに予防接種を受ける
インフルエンザはいつ流行するか分かりません。ワクチンは効果が出るまでに約2週間かかり、約5カ月持続します(個人差があります)。流行してからではなく、早めに予防接種を受けましょう。子どもの感染を防ぐためには、家族など周囲の大人が接種することもとても重要です。

② うがい・手洗いをこまめに
外出後だけでなく、せきやくしゃみが出た後もうがい・手洗いをしてください。

③ マスクの着用
外出するときはマスクを着用し、なるべく人ごみを避けましょう。また、せきやくしゃみが出たら周りの人への感染を防ぐため、マスクを必ず着用してください。

④ 休養とバランスの良い食事
病気に対する抵抗力や体力を高めるためには、十分に休養を取り、バランスの良い食事を取ることが大切です。規則的な生活を送り、感染しない体をつくりましょう。

はまなす号巡回カレンダー

◆はまぎくコース(机・北山方面)

月日	場所	時間
11月18日(火)	グループホームつくえ付近	9:40～10:00
	北山地区総合センター	10:10～10:25

◆たんぼぼコース(真木沢・切牛方面)

月日	場所	時間
11月18日(火)	佐藤進氏宅付近	11:05～11:20
	望洋館	11:30～11:45

◆おきなぐさコース(沼袋・甲地方面)

月日	場所	時間
11月19日(水)	産直プラザ尾肝要	9:45～10:00
	山栄会リアス倶楽部付近	10:10～10:40
	甲地公民館	10:50～11:05

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

編集こぼれ話

ノベル物理学賞を3人の日本人が受賞しました。その1人、名古屋大学の天野教授曰く、LEDの開発は数々の「失敗」の上に築いた経験が、発明の幸運を呼び寄せたこと。▼16ページの人口と世帯数の訂正の他、実は最終ページのがんばってますとわが家のアイドルのナンパリングが私が初めて担当した今年の5月号から1ずつズレていたようです(汗)▼経験が浅いのでただの「失敗」「失敗」をごまかすことなく「経験」にしなければと反省しきり(健)

平成25年度 一般会計・特別会計 決算を認定

平成25年度一般会計決算および国保特別会計など6つの特別会計決算は、9月19日から24日まで、休会をはさみ3日間にわたって決算特別委員会（委員長・中村芳正議員、副委員長・小松山久男議員）で審議したあと、最終日24日の本会議でいずれも認定されました。

9月定例会は、9月18日から24日の7日間の会期で開かれました。定例会初日に一般質問議員1名が登壇、村の姿勢を質問しました。2日目に報告1件、議案12件、原案どおり可決しました。また、決算認定7件を審査するため、議長を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置しました。最終日には同意案2件、発議案1件が追加され同意案1件、発議案1件が審議され可決されました。なお、同意案1件は起立少数により否決されました。※村議会だよりは広報編集委員会（委員長・中村勝明議員）で編集したものです。

●一般会計決算

歳出総額101億7940万円、
予算減額に対する執行率63・9%
・起立全員で認定

●国民健康保険特別会計決算

事業勘定 歳出総額6億2175万円、
予算現額に対する執行率94・8%
○直診勘定 歳出総額1億3046万円、
予算現額に対する執行率94・5%
・起立全員で認定

●簡易水道特別会計決算

歳出総額2億5440万円、
予算現額に対する執行率83・0%
・起立全員で認定

●集落排水特別会計決算

歳出総額1億1540万円、
予算現額に対する執行率43・6%
・全員起立で認定

●下水道特別会計決算

歳出総額3789万円、
予算現額に対する執行率88・8%
・起立全員で認定

●介護保険特別会計決算

事業勘定 歳出総額4億8245万円、
予算現額に対する執行率97・2%
○サービス勘定 歳出総額2550万円、
予算現額に対する執行率95・8%
・起立全員で認定

●後期高齢者医療特別会計決算

歳出総額3148万円、
予算現額に対する執行率99・3%
・起立多数で認定

議決した主な議案等

●平成25年度田野畑村の財政健全化比率及び資金不足比率の報告について

財政の健全性に関する比率の公表が行われ、平成25年度の健全化判断比率は次のとおりです。
実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字でないため該当しません

●机浜番屋群施設の設置及び管理に関する条例の制定

机浜番屋群施設の設置及び管理について必要な事項を定めた。

●田野畑村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

子供・子育て支援法の施行に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めた。

●田野畑村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

子ども・子育て支援法の施行及び児童福祉法の一部改正に伴い、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めた。

●田野畑村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

子ども・子育て支援法の施行及び児童福祉法の一部改正に伴い、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定めた。

●田野畑村ひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正する条例の制定

母子及び寡婦福祉法及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正をするもの。

●集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定

漁業集落防災機能強化事業の実施に伴う移転造成地等の整備により、新たに集落排水施設を設置するための改正をするもの。

●村営牧野の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

村営牧野で管理する機械器具の整備（追加）に伴い、改正をするもの。

●平成26年度田野畑村一般会計補正予算（第8号）

2億7723万円を追加し、総額を151億5332万7千円とするもの。

●平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

事業勘定 513万4千円を追加し、総額を6億1639万8千円とするもの。
診療施設勘定 642万6千円を追加し、総額を1億3866万1千円とするもの。

●平成26年度村集落排水特別会計補正予算（第3号）

3070万6千円を追加し、総額を6億2331万9千円とするもの。

●平成26年度村介護保険特別会計補正予算（第2号）

保険事業勘定 645万2千円を追加し、総額を6億45万2千円とするもの。

一般質問



中村 勝明 議員

円を追加し、総額を5億927万円とするもの。
●田野畑村教育委員会委員の任命
熊谷勤巳委員が平成26年9月30日をもって任期満了となることから同日をもって任期満了となることから同委員の任命について提案され、起立全員で同意された。
●田野畑村教育委員会委員の任命
佐々木源良委員が平成25年9月30日をもって退任したことから田野畑村机2番地4上村牧子氏の任命について提案されたが起立少数で否決された。

＜質問＞ 石原村政誕生から満1年が経過した。「村民が主人公」の基本方針をふまえ、地域住民との対話により、その意見を聞いて村政に反映させるとの公約であったが、村長自身どう自己評価しているか。
＜村長＞ 自己評価という質問です

が、実質公債費比率（標準財政規模に対する借金の比率）は10・5%で早期健全化基準25・0%を下回っており、現在の現況化では健全な財政状況といえます。

比率名	平成25年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%
実質公債費比率	10.5%	25.0%
将来負担比率	—	350.0%
実質赤字額または連結実質赤字額がない場合は「—」		

●村道路線の認定に関し議決を求めることについて

高台移転団地内の道路を村道に認定するもので、田野畑村羅賀（起点・終点、村道田野畑平井賀線分岐点）拓洋台線、田野畑村切牛（起点・終点、主要地方道岩泉平井賀普代線分岐点）黎明台線、田野畑村羅賀（起点・終点、村道羅賀平井賀線分岐点）羅賀東線、田野畑村松前沢（起点・終点、村道島越浜岩泉線分岐点）松前沢団地線の4路線を新たに村道に認定した。

が自ら評価を発することは多少異なると感じるところですが、村民の意見を大切に、村民が希求する未来像に向けて、村政運営においては説明責任を果たしながら、一つ一つ丁寧にとり進めていく「村民主体」の姿勢で臨んできたものと存じております。今後においてもその姿勢を貫きながら、人を知る明を持つこと、人を大切に用いることを肝に銘じて参る所存です。

＜質問＞ 被災者の住宅再建に関し、震災復興特別交付税の新たな活用策として直接交付金の増額を、従来の村独自の助成に上乘せすべきと考えるがどうか。
＜村長＞ 現在、村の住宅再建単独支援につきましては、議員から示された財源を活用して実施しております。9月10日現在におきまして、住宅の自力再建予定者109世帯、再建済みの方52世帯に対し実施している状況です。従いまして、新規住宅債務利子相当額補助などに対して、今後どの程度の額の申請があるか、状況を見ながら検討して参りたいと考えています。
＜質問＞ 災害公営住宅への引越しが相次いでいる。住宅の付属備品（ガスコンロ等）に対する苦情があったと聞か、村としてどう把握し、今後の対策をどう検討し

ているのか。

〈村長〉 黎明台団地の一部災害公営住宅において、利便性がよくないとのご意見が寄せられ、同タイプを設置している住宅を巡回し、聞き取り調査を実施しました。その結果、利便性は良くないものの、日常生活においては大きな支障が生じないことをご理解賜ったものと判断しております。

〈質問〉 介護保険事業が来年度第6期を迎える。新制度で要支援1・2の方が介護給付から外れる。担当課はどう受け止めているか。また、介護事業所は経営上で問題を抱えてしまうと認識している。村としての対策はどうか。

〈村長〉 今回の制度改正では、要支援者等高齢者の多様な生活支援ニーズに地域全体で応えていくことが盛り込まれているものであります。つまり、介護予防給付（要支援1・2）のうち、訪問看護（ホームヘルプサービス）と通所介護（デイサービス）が今回の改正で、全国一律の基準に基づくサービスから、市町村が実施する地域支援事業に移行される

ものであり、村（保険者）として、これまでのサービス水準を落とすことは想定しておりません。これまでと同様に介護保険制度の中の運用となりますので、給付が受けられなくなるものではありません。なお、この制度は、平成27年4月の施行であります。29年4月まで猶予されるものであります。介護事業所の運営につきましては、これまでどおりと考えております。

〈質問〉 現在の放課後児童クラブ事業について、来年4月からの子ども・子育て新制度の運営基準と整合性をどう考えているか。また、新たな施設での事業実施について、どう検討しているか。

〈村長〉 平成24年8月に子ども・子育て関連3法が成立し、平成27年4月から子供・子育て支援に新たな制度がスタートすることが決定されています。これは質の高い幼児期の学校教育、保育の量的拡大及び確保並びに地域における子ども・子育て支援の充実を図ろうとするものであり、今会議にも関連条例を提案しています。

その中で放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例がありますが、運営基準で見ますと職員数、児童数、施設の面積、開室時間、開室日数、

全て整合性は取れていると理解しています。また、新たな施設での事業実施につきましては、現在の施設は緊急的な課題解決を図るために暫定的に開設したものであることから、今後の需要等を把握しながら効果的なあり方を検討して参りたいと考えています。

〈質問〉 広島土砂災害にみられるように、ゲリラ豪雨が相次いでいる。人命を守る立場から、村内における土砂災害危険個所の状況はどうなっているのか。またその対策をどう検討しているか。

〈村長〉 岩手県が平成12年に調査した結果では、土石流危険渓流が123箇所、急傾斜地崩壊危険箇所が38箇所となっております。さらに岩手県基礎調査を実施しており、25年度までに土石流危険箇所84箇所、急傾斜地崩壊危険箇所38箇所を調査を終えています。対策としては、土砂災害危険個所の周知と広報活動を徹底していくことが重要であり、土砂災害危険個所の縦覧のほか、岩手県と連携して地域ごとに説明会を開催し、危険個所の周知と注意喚起を行いたいと考えております。また、避難勧告等の発令基準や伝達方法を標準化する「田野畑村警戒避難マニュアル」を策定し、大雨警報や土砂災

害警戒メッシュ情報等の情報を的確にとらえ、「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」の発令が時機を失することのないよう万全を期すとともに、消防団員及び住民の協力を得ながら、土砂災害の前兆現象の把握にも努めて参りたいと考えています。

〈質問〉 震災後における高台移転地の宅地造成について、地質的にも十分な調査検討が行われ、検査済みと受け止めているが、村として実態把握は万全か。

〈村長〉 現時点において高台移転団地は全て土砂災害危険区域外に位置しておりますし、団地造成工事につきましても、都市計画法による開発許可に基づき適切な施行と監理がなされたものであり安全な団地であると理解しております。なお、岩手県の土砂災害危険区域の見直しに伴い、対応すべき事案が生じた場合は、関係機関と連携を図りながら、適切に対処していくところ です。

〈質問〉 サンマッシュ田野畑については、決算を見れば当期利益(黒字)となっているが営業損失そのものが160万円計上されている今後の見通しはどうか。

〈村長〉 営業損失の160万円の主な原因は、菌床数が減少し、キノコの生産量が落ち込んだことから販売額が減少し、さらに消費税のアップにあわせ、前倒しで資材等を購入したことが要因となっております。平成25年度単年度収支は1930万円程の黒字決算となり、債務超過額が1800万円となっております。この間原発事故による風評被害や労働者不足等、厳しい経営環境にはありますが、経営努力により財務内容が改善しており、本年度においても第1四半期で、330万円程の黒字となっております。今期の営業利益見通しは700万円程と見通しております。このようなことからここ数年で健全経営に移行するものと考えています。

〈質問〉 安倍内閣の教育政策は、教育委員会制度を根本から変える。教育の自由、自主性を守る本来の役割を果たせなくなってしまうと私は考えている。村の教育長としての見解を伺いたい。

〈教育長〉 本年6月20日に平成27年4月から施行される「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正の趣旨は、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、敏速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図ることで地方教育の機能を高め、様々な課題を解決することにあると考えています。新制度においても教育の政治的な中立性の確

発議案

提出者 中村 勝明議員
賛成者 工藤 求議員
賛成者 佐々木芳利議員

最終日の9月24日、追加議案として議員による発議案が1件提出され、可決されました。

内容は「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金の継続に係る意見書」です。

〈村長〉 当会社はあい鴨飼育、加工販売を目的に昭和62年12月に設立され、村の雇用を支える重要な役割を担っております。営業損失の3508万円は、東日本大震災により、株式会社甘竹の被害が甚大となり復旧まで時間がかかり、また原発事故による風評被害等在庫を抱えてしまい平成25年度は、在庫調整のために減産計画を余儀

なく実施したことにより赤字決算となったものです。26年度見通しですが、昨年度よりも売れ行きが好調であり、7万2千羽多い38万羽の出荷体制とし、経費の徹底した削減・防疫体制の強化・生産管理の徹底・加工技術の更なる向上等を図り、結果を出せるよう事業の推進にあたっていくこととしております。

〈質問〉 漁業協同組合、産業開発公社等と村が協議しつつ、毎年一定規模の水揚げが見込まれるサケ、ワカメなどを対象とした官民一体となった水産加工業の推進が必要との声が強まっている。村当局の見解はどうか。

〈教育長〉 PTA会費、クラブ活動費、生徒会費については、本村においても支給しているところがございます。

★お仕事は？

4月から熊谷建設㈱で工事の施工監理の仕事をしています。

★今、頑張っていることは？

仕事を覚えることで精一杯です(笑)。まずは工事現場で事故や施工ミスがないように頑張ります。

★休日は何をしていますか？

高校時代に硬式野球部でキャプテンをしていたので野球をしています。これからはオフシーズンになるので友達と遊んだり海釣りに行ったりしたいです。

★理想の女性のタイプは？

優しく、話が合う女の子が理想です。彼女はいないのでいい出会いがほしいですね。

★最後に一言お願いします！

浜岩泉地区の三陸復興道路の建設現場で仕事していますので、見かけたら声をかけてください。



藤島 夢也さん(19)＝甲地＝



わが家の アイドル



熊谷 美紗ちゃん(1歳10カ月)
宗矩さん・美穂子さん＝田代＝
お母さんからのひとこと

いつもおむつを替えてくれるおじいちゃんが大好き(笑)。

負けず嫌いな性格でお姉ちゃんにいたずらするやんちゃ娘です。

きょうだい仲良く元気いっぱい育ててね！



石原弘の 村長コラム

2

人口減少による消滅可能性都市が、増田寛也・日本創成会議・人口減少問題検討分科会から公表されました。その内容は、若年女性人口が減少する限りは、人口の再生産力は低下し続け、総人口の減少に歯止めがかからない関係があることを基として分析されていると同時に、ストップ少子化地方元氣戦略として国民の希望出生率を実現することなども提言されています。

社会構造が著しく変容し、不確実性の連続となっている現下の状況で、これまでの成功例は通用しがたく、社会・地域も新しい時代に突入している。世界経済は常にダイナミックに、地球を廻るように経済軸は数十年落ち着くことなく、様変わりしています。一つの事象も変質しつつ、常に新しい方向へと変化を求めめるのも経済(地域経済)であります。その意味からも、地域は、新しい感性と実行を持ち合わせている女性や若者が、人生経験の豊富な方々と手を携えて、新たな取り組みや地域づくりを行うことが喫要となつていきます。

そこで、皆さんにお願いがあります。10月に役場全職員会議でも話したことです。家族の方々などに、村の情報発信をして頂きたいと願っています。各家庭の協力を得て取り進めれば、3800人のマンパワーが、4人の協力を頂ければ15200人のマンパワーになるのです。10人となれば、38000人の田野畑村のマンパワーに増大するのです。消滅可能性都市の危機は、村を変える機会であると捉え、自らの手で、田野畑村の未来を選び直しましょう！

小さな取り組みを重ねることで地域の大きな力になると信じています。是非、ご子息やご親戚、知人等を紹介頂き、また、ご自身が田野畑村の営業マンになって、東日本大震災・大津波からの地域づくりへの実質的参加によって、一人一人の夢を実現し、一人一人の想いを地域と村に生かしていきましょう！

小さな出来事、田野畑村物語は、村民と地元出身者などとの心の交流によって、夢が花ひらく、悲しみや怒りを創造にかえていきましよう！